



# ざまっと通信

座間市民活動サポートセンター情報誌

NO. 40 2018年9月15日発行  
発行：座間市民活動サポートセンター  
(運営：ざま市民活動応援広場)  
住所：座間市緑ヶ丘 1-1-1(ざまコミュニティプラザ)  
TEL：046-255-0201  
FAX：046-255-3243  
E-mail：ss-zama@feel.ocn.ne.jp  
URL：http://zamat.genki365.net/



## アナウンサーの技を学ぶ！

### 話し上手・聞き上手

### ～ コミュニケーションのひと工夫 ～

人の悩みのほとんどは人間関係だと言われています。伝え方のコツ・質問のコツなどを身に着けるとお仕事や趣味の集まり、就職活動、日常生活などで何かと役に立ちますよ！

「伝わる話し手」「話を引き出す聞き手」になる極意を学んでみませんか？

ぜひ、お気軽にご参加ください。

と き： **2018年10月13日(土)**  
**10:00～11:30 (開場 9:30)**

と ころ： ハーモニーホール座間 2F 大会議室

定 員： 50名(申込順)※満員の際はご容赦ください

参 加 費： 無料

申 込 み： 10月1日(月)までに、来所または電話で当センターへ

主 催： 座間市・座間市民活動サポートセンター

講 師： 川瀬真由美氏 (テレビ朝日 広報局お客様フロント部長)



講師プロフィールは当センターからのチラシをご覧ください。

## 報告

### サポートセンター登録の5団体がリユースPCを獲得！

2018年8月25日(土)、相模原市けやき会館にて第15回「かながわイーパーツ リユースPC 寄贈プログラム寄贈式 in さがみはら」が開催されました。

このプログラムは、県央10市のNPO支援センターと認定NPO法人イーパーツが協働で、登録団体のIT情報化の支援を目的に行っています。

当日は審査で通過した座間の5団体も参加。情報セキュリティ講習会、さがみはらの郷土民話「トラ猫はやし」紙芝居などが行われ、各団体が写真とキャプションでアピールしたポスターコンテストでは、特定非営利活動法人どんぐりと山猫会が見事1位になり賞品(プロジェクター)が贈呈されました。

#### リユースPCが寄贈された当センター登録団体

特定非営利活動法人 どんぐりと山猫会 (2台)、ZAMA生涯学習ボランティア研究会 (1台)、シニア麻雀クラブ・座間 (1台)、座間市写真連盟 (1台)、認定NPO法人 きづき (2台)



# 報告

## みんなで一緒に学びませんか？ 助成金申請の企画書の書き方勉強会 開催！！

2018年7月23日（月）に「助成金申請書・企画書の書き方勉強会」を開催しました。

当日は始めに「かながわボランティア活動推進基金21」について、県の担当職員より説明が行われ、その後、申請書・企画書の書き方勉強会を行いました。

今回は、参加者の方がより実践的に学べるように勉強会形式で、参加団体が、それぞれ自分たちにあった助成金プログラムの申請書を実際に記入した後、それをもとにみんなで意見を出し合いました。講座終了後のアンケートでは、「実力不足なのでムリかと思っていましたが、少しやる気ができました」「助成金の募集团体（企業）が色々あることを知り、勉強になりました」など前向きな感想をいただきました。



県の担当職員の説明



勉強会の様子

## NPOと行政の対話フォーラム'18へ参加

2018年7月13日（金）、日本NPOセンター主催の「NPOと行政の対話フォーラム'18」に、当センターの職員は3名参加しました。年一回、行政やNPO支援センターのスタッフ等が集まり、研修と意見交換を行うミーティングです。

当日は「協働の未来へ、次の一手を考える」をテーマに、相川康子氏、青海康男氏、萩原なつ子氏（聞き手）による講演と、「NPO支援センターの協働コーディネート機能を考える」をテーマに手塚明美氏、竹内理氏による体験談ののち、グループに分かれて、「協働」についての行政側・支援センター側から見た、それぞれの役割・心構え・必要なスキル等について意見を出し合い発表しました。市民の方が行政の仕組みを把握できていないことも多く、お互いの理解を深めることが最初のステップなのだと感じました。中間支援組織として、市民と行政の架け橋になれるよう、これからの役割を考える1日となりました。

### お知らせ パート2



サポートセンターのフリースペースガラス面でグリーンカーテンとして育てているゴーヤの蔓が伸びて、たくさんの黄色い花を咲かせています。小さなゴーヤの実もつき始めました！





☆わがサークルを取り上げてほしい、イベントを計画しているので紹介してほしいなど掲載の希望がありましたらご連絡ください。

詳細はサポートセンターへお問合せください

TEL : 046-255-0201

FAX : 046-255-3243

E-mail : ss-zama@feel.ocn.ne.jp

## 座間太極拳愛好会

太極拳とは、中国古来伝統の武術で、理想的な健康法として注目されています。私たちの会では無限太極拳協会から二人の講師を招き気功で体をほぐし、簡化24式を始め、48式、剣を持って行なう型も行います。意識や呼吸を重視したゆっくりとした動作で、誰でも気軽に楽しく始められます。

また、下肢を中心とした身体の鍛錬にもなり、足腰を丈夫に、転倒防止になります。楽しみながら、健康になれる活動を一緒にしませんか？体幹が鍛えられます。



活動場所：東地区文化センター

東原コミュニティセンター

活動日時：毎週（火）13:00～15:00

## 座間クラシックギタークラブ

クラシックギターのアンサンブルは、独奏と違い、高度なテクニックは必要ありません。誰でも簡単に、すぐ弾けます。ギターを弾く楽しさを一緒に味わいましょう。見学・体験いつでも大歓迎です。



活動場所：青少年センター

活動日時：第1・3（水）

13:00～15:00

## 野良猫を増やさない会

野良猫は野生動物ではありません！

安易な殺処分ではなく増やさないことが大事！！

不妊手術をして適切に（マナーのある餌やりとトイレ設置）管理しませんか。

増えてお困りの方はご相談ください。捕獲・手術のお手伝いをします。

手術費用はご負担いただきますが、市へ助成金申請すればオス2,400円、メス1,400円です。



活動場所：市内

活動日時：不定期（主に午後）

## 今年もふるさとまつり会場でお待ちしています

2018年11月18日（日）は、座間市民ふるさとまつり会場（座間中学校校庭）にサポートセンターブースを開設します。当日は会場にて市民活動相談などに応じますので、ぜひお気軽にブースにお立ち寄りください。（当日センターは休館にいたしますので、フリースペースや印刷機、コピー機、パソコン等のご利用はできません。）

# 事務局からのお知らせ



## 助成情報



### 地域文化の振興活動に助成

地域文化の振興に寄与してこられた団体、とりわけ地域の音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野において努力されている団体に対しての助成事業。

◆1件当たりの上限額なし

(1件当たり20万円～50万円程度が多い)

◆募集期間:2018年8月1日～11月30日

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団  
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目2番4号

電話:03(3272)6993/FAX:03(3272)6994

URL:<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/>

### 登録団体「ロッカー利用受付中」

サポートセンター内の団体用ロッカーは月単位で利用できます。イベント期間中などの短期でも、団体の資料や備品などの保管に、ご活用ください。

・サイズ:幅45cm×高さ40cm×奥行35cm

・利用期間:1ヶ月～

※最長2019年3月まで(更新可)

・使用料:×1ヶ月200円

※月途中からの利用可(だし月単位での契約)

※先払い(契約期間中に利用を中止する場合、返金なし)

サポートセンター登録数・利用者数

2018年7月31日現在

登録団体数 : 192 団体

ざまと登録団体 : 129 団体

利用者数累計 : 1,838 人

(2018年4月から)

### ここにもまちづくりの めばえ②

(平成29年度相互提案型協働事業結果報告より)

座間市をより良くしようと活動する市民活動団体からの提案を受け実施された、座間市相互提案型協働事業の成果をご紹介します。



### 知ってほしい「こころの健康問題」

市民活動団体:認定NPO法人 きづき

市担当課:障がい福祉課 健康づくり課

こころの健康問題について、市民への正しい理解の普及・啓発を目的に、講座の開催や情報誌の作成に取り組みました。



### 応援ひろばから

今年の日本は天変地異が発生し、これまでにない猛暑、これまでにない台風の発生と逆走、これまでにない大雨、これまでにない洪水等に見舞われている。観測史上の常識が通用しない。地球誕生から46億年、生命の誕生から35億年、地球は刻々と変化をし続けている。これは大自然の話で、700万年前に現れた人類がその変化に大きく影響していることも確かだろう。身の回りに目を向けてみると、人間社会もこれによく似た変化をしているのではないだろうか。技術の進歩により、近年の社会は急激に変化し、それは加速度を上げてさらに続くだろう。いままで培われてきた常識は即刻見直しの時期に来ているのではないか。よく先を見通して今後を決めていこうと考える。

なぜかノアの洪水の伝説が頭をよぎってしまう・・・。(こけ)